Panasonic®

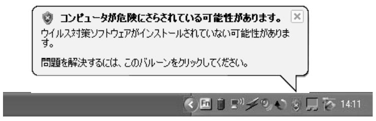
補足説明

パーソナルコンピューター

本機は、Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載モデルです。
本機に付属の『取扱説明書』および『操作マニュアル』の記載と異なる部分があります。また追加事項もあります。ご使用になる前に必ず本書をお読みください。

はじめて使うとき (取扱説明書)

このメッセージはエラーなどのメッセージではありません。



◆ Windowsのセットアップ

- Windowsのセットアップが完了すると
  - 「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」というメッセージが画面の右下に表示されますが、続いて次の手順に進んでください。
これは、[コントロールパネル]の[セキュリティセンター]機能が表示しているメッセージで、エラーなどのメッセージではありません。[セキュリティセンター]については、2ページをご覧ください。

◆ ユーザーアカウントの作成

作成したユーザーアカウントでログオンした後、画面右下のタスクトレイの  をクリックし、[自動更新を有効にする] をクリックしてください。

◆ Windows® Media Playerについて

Windows® Media Player を起動して使用許諾に同意する必要はなくなりました。（機種によってはこの手順が記載されていない場合があります。）

ウィルス対策について

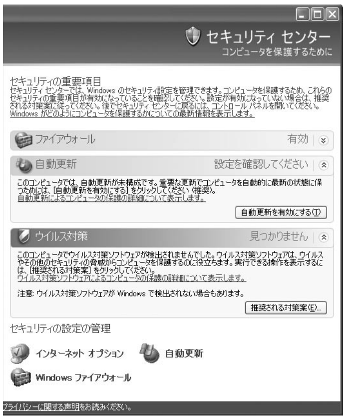
以下の内容を追加します。

セキュリティセンター／ウィルス対策について

コンピューターウィルスなどによる被害から Windows を守るため、Windows セキュリティセンター機能をお使いください。

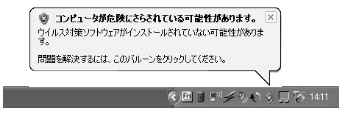
Windowsセキュリティセンターについて





- Windows セキュリティセンターとは
  “Windows のセキュリティ情報を一元管理する機能”で、ウィルス対策などの Windows のセキュリティ設定がより安全に行われているかを監視します。
  コンピューターウィルスなどによる被害から Windows を守るため、「Windows セキュリティセンター」機能をお使いください。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] をクリックすると、以下のセキュリティ関連の現在の設定が表示されます。
  - Windows ファイアウォール（Service Pack 1a では「インターネット接続ファイアウォール」に相当します。）
    外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護 するためのセキュリティ機能です。
    外部ネットワークとの間でやりとりされるデータ を規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。
    お買い上げ時は、有効に設定されています。
  - 自動更新
    インターネットに接続していれば、セキュリティの更新など、重要な更新が行われているかを定期的に確認し、自動的にインストールして最新の状態にする機能です。
  - ウィルス対策
    ウィルス対策ソフトがインストールされているかどうか、およびウィルス対策ソフトのバージョンが最新かどうかなどを定期的に確認する機能です。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら



メッセージを読み、画面右下のタスクトレイの「Windows セキュリティアイコン」（赤色のアイコン）をダブルクリックして、適切な設定を行ってください。
このメッセージは、上記の Windows セキュリティセンターがセキュリティ関連の設定を定期的に確認し、より正しく設定されるまで表示します。

お知らせ

- このメッセージは、エラーメッセージではありません。メッセージが表示されたままお使いいただくことはできます。ウィルスなどの被害を軽減し、より安全にお使いいただくために適切な対策を行い、このメッセージが表示されないようにすることをお勧めします。

困ったときのQ&A (取扱説明書／操作マニュアル)

以下の内容を追加します。

ネットワークを利用するプログラムが動作しない ファイルやプリンターが共有できない	● 「Windows セキュリティセンター」の「ファイアウォール（Windows ファイアウォール）」が<u>有効</u>に設定されているため、プログラムが動作しないまたはファイルが共有できない可能性があります。 有効に設定されていると、ウィルスなどからの被害は軽減されますが、動作しないプログラムなどがあります。 プログラムを使用するまたはファイルやプリンターを共有するには： Windows ファイアウォールの設定で例外に登録することで、Windows ファイアウォールの影響を受けずにプログラムなどを使用できます。（Windows ファイアウォールを無効にする必要はありません。） ただし、例外に登録すると、ウィルスなどの被害を受ける可能性もでてきます。例外に登録するプログラムについては、プログラムの開発元などに安全性を確認してから登録してください。 ① [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] - [Windowsファイアウォール]をクリックする。 ② [例外]をクリックする。 ③ <u>ネットワークゲームなどのプログラムを例外にする場合</u>： [プログラムの追加]をクリックし、プログラムをクリックして[OK]をクリックする。 <u>特定のポートに対するアクセスを例外にする場合</u>： [ポートの追加]をクリックし、ポートを設定して[OK]をクリックする。 <u>ファイルやプリンターを例外にする場合</u>： [ファイルとプリンタの共有]にチェックマークを付ける。 ④ 例外に登録する項目にチェックマークが付いていることを確認し、[OK]をクリックする。
Windows ファイアウォールは有効にしておく必要がありますか？	● Windows ファイアウォールとは、外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護するためのセキュリティ機能です。 外部ネットワークとの間でやりとりされるデータを規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。ウィルスなどからの被害を軽減するには、有効のままお使いいただくことをお勧めします。 ● 市販のファイアウォールソフトウェアを追加でインストールしている場合は、Windows のファイアウォール機能と干渉して問題が発生する場合がありますので、Windows のファイアウォールの設定は無効にしておくことをお勧めします。 詳細については、インストールしているファイアウォールソフトウェアの説明書などでご確認ください。
自動更新を有効にすると、すべての更新がダウンロード（またはインストール）されますか？	● 自動的にダウンロード（またはインストール）されるのは、Windows Update の中で優先度の高い更新プログラムのみです。 比較的重要度が低いプログラムは、自動的にダウンロード（またはインストール）されません。定期的に更新プログラムが提供されていないか確認してください。
セキュリティセンターの警告機能が働かない	● 会社などのネットワークでドメインに参加している場合は働きません。

Web ページの表示がおかしい（表示されない、真っ白で表示される、広告やログオンなどのポップアップが表示されない）	● Windows XP Service Pack 2 では、Web 上のコンテンツに対するセキュリティ機能が強化されています。 その一つに「ポップアップブロック機能」があり、この機能により Web ページが表示されなくなる場合があります。 Internet Explorer で正しく表示できないなど、問題が起きた場合は、アドレスバーの下に表示されるメッセージウィンドウ（情報バーと呼びます）の内容をご確認ください。情報バーは、Internet Explorer が制御した情報を表示します。 •「ポップアップがブロックされました」と表示された場合： ① メッセージをクリックし、「ポップアップを一時的に許可」をクリックする。 ブロックされたポップアップが一時的に表示されます。 •「ActiveX コントロールが必要 ...」と表示された場合： ① メッセージをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール」をクリックする。 ②「セキュリティの警告」画面の「名前」と「発行先」を確認し、安全であることが確認できたらインストールする。 • 情報バーも見つからない場合： 安全なページであることを確認の上、【**Ctrl**】を押しながら Web ページのリンクをクリックしてください。ポップアップブロック機能が一時的に無効になります。
Outlook Express で HTML 電子メールの画像が表示されない	● Windows XP Service Pack 2 では、HTML 電子メールの画像表示をブロックする機能があります。 HTML 電子メールの画像を表示するには、発信元のサーバーへアクセスする必要があり、コンピューターに問題を引き起こすものがあります。 このような画像を表示させないことで、ウィルスなどからの被害を軽減することができます。 画像を表示するには： 画像が安全なものであることを確認の上、「... 画像がブロックされています ...」と表示されている部分をクリックします。一時的に表示することができます。
Outlook Express で添付ファイルが取り込めない（保存されない）	● Windows XP Service Pack 2 では、Outlook Express で受信したメールに、「.exe」や「.scr」などの拡張子を含んだファイル（安全でない可能性があるファイル）が添付されている場合、ファイルをブロックします。 ファイルを取り込むには： ファイルが安全であることを確認してください。その後、[ツール] - [オプション] - [セキュリティ] をクリックし、[ウィルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない] をクリックしてチェックマークを外してください。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」のメッセージが表示された	● Windows の「セキュリティセンター」機能が表示しているメッセージです。「セキュリティセンター」は、コンピューターを安心してお使いいただくために、ウィルス対策などの Windows のセキュリティ設定がより安全になっているかを監視する機能です。 次の 3 つの項目を定期的にチェックし、安全に設定されるまでメッセージを表示してお知らせします。 • ファイアウォール : Windows ファイアウォールが有効かどうか • 自動更新 : Windows Update の自動更新が有効かどうか • ウィルス対策 : ウィルス対策ソフトがインストールされ、ソフトのバージョンが最新かどうか、およびリアルタイム検索が有効（オン）になっているかどうか ● 「コンピューターが危険にさらされている可能性があります」は、「セキュリティセンター」機能が表示しているメッセージで、エラーや故障のメッセージではありません。「セキュリティセンター」機能がチェックしている項目（上記 3 項目）が、安全な設定になっていない場合はこのようなメッセージでお知らせします。 表示され続けてもそのままお使いいただけますが、ウィルスなどからの被害を減らすためにも、以下の手順で表示されないようにすることをお勧めします。 ① メッセージを読む。 ② タスクトレイの「Windowsセキュリティアイコン（赤色のアイコン）」 をクリックする。 「Windowsセキュリティセンター」画面が表示されます。 ③「ファイアウォール」、「自動更新」、「ウィルス対策」の中から[推奨される対策案]をクリックする。 対策が不要な場合は、[推奨される対策案]は表示されません。 ④ 画面に従って、適切な対策を行う。
 が表示された	● Windows の「セキュリティセンター」の「自動更新」が設定されていないまたは無効に設定されているため、このメッセージが表示されます。（お買い上げ時は設定されていません。） 「自動更新」は、インターネットに接続していると、優先度の高い更新プログラム（セキュリティの更新など）が Windows Update に提供されていないか定期的に確認し、自動的にインストールして Windows を最新の状態にする機能です。 表示され続けてもそのままお使いいただけますが、Windows を最新の状態にするために「自動更新」を有効にすることをお勧めします。 ① メッセージを読む。 ② タスクトレイの「Windowsセキュリティアイコン（黄色のアイコン）」をクリックする。 「自動更新」画面が表示されます。 ③ [詳細オプション]をクリックし、自動更新を有効（[自動更新を無効にする]以外）に設定する。
アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	● お買い上げ後にインストールしたアプリケーションソフトが Windows XP Service Pack 2 に対応していない場合があります。アプリケーションソフトのメーカーのホームページなどで対策などを確認してください。 ● ネットワークを利用するアプリケーションソフトやプログラムの場合は、「ネットワークを利用するプログラムが動作しない」の項目もご覧ください。（➔ 3 ページ）

無線LAN (取扱説明書/操作マニュアル)＜無線LAN内蔵モデルのみ＞

タスクトレイに表示されている「ワイヤレスネットワーク接続」アイコン   が   に変わります。（ただし、新しいアイコンが記載されている操作マニュアルもあります。）

SS1104-0
DFQM5581ZA